

## 2019年度第1回小倉競馬特別レース名解説

### <第1日>

#### ○ あすなろ賞

あすなろ（翌檜）は、ヒノキ科の常緑高木。日本固有種で、全国の山地に自生し、大きいものは高さ30m、直径1mにもなる。葉はやや厚く大きなウロコ状で緑色をしており、裏面には雪白色の模様がある。抗菌性と耐湿性に優れ、古くから木材として用いられている。

#### ○ 壇之浦特別

壇之浦（だんのうら）は、山口県下関市、関門海峡の東の海域である早鞆瀬戸（はやともものせと）に臨む海岸。源平合戦最後の戦場として知られる。関門トンネル・新関門トンネル・関門橋が集まる交通の要衝で、安徳帝を祀る赤間神宮など史跡の多い観光地でもある。

#### ○ 巖流島特別

巖流島（がんにりゅうじま）は、山口県下関市、関門海峡に浮かぶ船島の別名。宮本武蔵と佐々木小次郎が決闘した場所として有名。毎年、巖流島を遠望する北九州市小倉北区の手向山（たむけやま）公園では、両剣聖を偲んで「武蔵・小次郎まつり」が催される。

### <第2日>

#### ○ 小倉城特別

小倉城（こくらじょう）は、北九州市小倉北区にある城。戦国時代末期に毛利氏が築城したのが始まりとされる。昭和34年に現在の天守閣が再建され、平成10年には城内下屋敷跡に江戸時代の大名屋敷を再現した小倉城庭園が完成した。

#### ○ 関門橋ステークス

関門橋（かんもんきょう）は、北九州市と下関市を結ぶ関門高速道路が走る吊り橋。全長1,068m、幅26mで桁下は61m。昭和43年に着工し、48年に開通した。

#### ○ 帆柱山特別

帆柱山（ほばしらやま）は、北九州市にある標高488mの山。名は、神功皇后の三韓出兵の際、この山から船舶や帆柱にする木材を切り出したことに由来する。

## <第3日>

### ○ かささぎ賞

かささぎ（鶺鴒）は、スズメ目カラス科の鳥。佐賀県の県鳥。「カチカチ」という鳴声から、カチガラスとも呼ばれる。日本では、佐賀平野を中心とした地域に生息しており、それらの地は国の天然記念物に指定されている。

### ○ 和布刈特別

和布刈（めかり）は、北九州市門司区の地名。名は、和布刈神社に由来する。「和布刈」とは、わかめを刈り取ることを意味し、同神社では旧暦の元旦に神官がわかめを刈り取る行事「和布刈神事」が行われている。

### ○ 大牟田特別

大牟田（おおむた）は、福岡県南西端の市。大牟田市から熊本県荒尾市にまたがって広がる三池炭鉱を中心に石炭化学工業コンビナート群が形成され、有数の化学工業都市として発展を遂げた。同炭鉱が閉山してからは、エコタウンやテクノパークなどに参加する企業の誘致にも力を入れている。

## <第4日>

### ○ 日田特別

日田（ひた）は、大分県西部の市。江戸時代には、日田金で有名な九州の金融の中心地であった。市街を流れる三隅川沿いの水郷地帯は耶馬日田英彦山国定公園に属し、咸宜園（かんぎえん）跡などの史跡も多い。周辺の山地は全国屈指の杉（日田杉）の産地で、製材や木工業が盛ん。また、北端の皿山は小鹿田焼（おんたやき）で知られる。

### ○ 小倉大賞典（GⅢ）

本競走は、昭和42年に創設された重賞競走。創設以来、スタンド改築等を除き、小倉競馬場芝1800mのハンデキャップ戦で実施されており、マイル～中距離路線での飛躍を狙う馬にとって重要な競走となっている。

### ○ 紫川特別

紫川（むらさきがわ）は、北九州市の中心部を流れる川。延長約20km。小倉南区の福智山に源を発し、小倉北区で響灘に注ぐ。上流には平尾台があり、下流では北九州市最大の三角州を形成している。

## <第5日>

### ○ くすのき賞

くすのき（樟）は、クスノキ科の常緑高木。日本では九州に多く生息しており、長寿で高さ20m以上の大木になる。葉は卵形で先がとがり、光沢がある。5～6月にかけて黄緑色の小花をつける。また、防虫剤や医薬品に広く利用されている天然樟脳（しょうのう）が採れる。

### ○ 周防灘特別

周防灘（すおうなだ）は、瀬戸内海最西部に位置する水域。瀬戸内海にある灘の中では最も水域が広い。山口県南岸と九州北東岸に囲まれ、西は関門海峡で響灘に通じ、東は祝島と国東半島北方の姫島を境として伊予灘に接する。

### ○ 合馬特別

合馬（おうま）は、北九州市小倉南区の地名。名は、大化の改新により「駅伝の制」が導入された際、都と全国の国府を結ぶ幹線道路上の駅に、官吏公用で諸国へ行く者の為に備えられていた馬（駅馬）が、当地にて落ち合い鼻を突き合わせたことに由来する。

## <第6日>

### ○ 脊振山特別

脊振山（せふりさん）は、福岡県と佐賀県の境にある脊振山地の主峰で、標高1,055mの山。頂上には脊振神社がある。また、鎌倉時代に栄西禅師が宋の茶を移植したことで知られ、日本茶栽培の発祥地とされる。

### ○ 下関ステーキス

下関は山口県の西端に位置する市。関門海峡を隔てて九州と、対馬海峡を隔てて韓国と相対しているため古くから本州の玄関口として栄えた。ふぐの集積地として有名であるが、現地ではふぐは「不遇」を連想させることから、縁起をかついで「ふく（＝福）」と呼ばれることが多い。

### ○ 皿倉山特別

皿倉山（さらくらやま）は、北九州市八幡東区にある山。西に続く帆柱山とともに北九州国定公園となっている。山頂にある展望台からは洞海湾沿岸の工業地帯や関門海峡を一望でき、夜景が美しいことで知られている。

## <第7日>

### ○ 呼子特別

呼子（よぶこ）は、佐賀県唐津市の地名。一帯は玄海国定公園で海中公園地区があり、名勝・史跡も多い。呼子湾では、イカをはじめとした漁業が盛んに行われ、朝市には多くの観光客が訪れる。

### ○ 早鞆特別

早鞆（はやとも）は、九州の北端、門司崎と下関市壇之浦との間の水路。早鞆瀬戸（はやとものせと）の名で知られる。この付近は海峡の中で最も狭く、本州と九州の間の海峡の幅は約 630m。潮の流れも強く、最大 9 ノット（約 17 km/h）に達することもある。

### ○ 八代特別

八代（やつしろ）は、熊本県中南部の市。江戸時代には熊本藩家老松井氏の城下町として栄え、八代城や松濱軒などの旧跡が多く残る。また、低地では農業が盛んで、イグサの生産量は日本一を誇る。

なお、同市には JRA の場外勝馬投票券発売所であるウインズ八代がある。

## <第8日>

### ○ 萌黄賞

萌黄（もえぎ）は、萌え出た若葉のような冴えた黄緑系統の色。古来より用いられ、平安時代には若者向けの色とされた。

### ○ 太宰府特別

太宰府（だざいふ）は、福岡県中西部の市。律令制下で西海道（九州全土）を統括した官庁である大宰府が置かれていた。また、「学問の神」と崇められる菅原道真を祀った太宰府天満宮があり、全国から多くの参拝者が訪れる。

### ○ 唐戸特別

唐戸（からと）は、山口県下関市の地名。古くから栄えた港町であり、旧下関英国領事館、旧秋田商会ビルや下関南部町郵便局など、レトロな建物が建ち並ぶ。また、ふぐで有名な唐戸市場がある。